

＜平成27年度インド草の根・人間の安全保障無償資金協力実施案件＞
「ケララ州アラップーザ県知的障害児のための寄宿制特別学校増築計画」
(供与金額：79,178米ドル)

平成31年2月7日、ケララ州アラップーザ県において在チェンナイ総領事館番場領事、被供与団体「ディープティ特別学校」関係者、被供与団体を運営するカルメル修道女会聖母教区の関係者、本案件の裨益者である生徒85名及びその保護者55名が出席し、本案件の完成式典が行われました。本案件では、ケララ州貧困層の知的障がい児の寄宿・就学環境の改善を図り、女子寄宿舎の増築及び機材の整備を行いました。被供与団体は1992年の設立以降、知的障がい者の地位向上、社会参画促進及び自己実現を目指し、寄宿舎提供、教育支援、職業訓練及びリハビリテーションの実施に注力してきました。県内唯一の寄宿制特別学校であることから、被供与団体への入学希望者は毎年増加しており、深刻なスペース不足の問題に直面したため、草の根・人間の安全保障無償資金による寄宿舎増築及び機材整備に至りました。本案件により、ケララ州の知的障がい児の生活環境や学習の質が向上するとともに、日印両国の友好関係が強化されることが期待されています。

「ケララ州アラップーザ県知的障害児のための寄宿制特別学校増築計画」完成式



番場領事及び本学児童



完成した寄宿舎



番場領事によるテープカット



式典の様子



本学児童85名及び
保護者55名が出席